

洋書輸入協会会報

NO. 3

昭和42年7月

理 事 会 報 告

6月20日（火）

外国雑誌予約価、目録対策並に協会名に依る本国宛予約価照会等実施については、尚種々問題点があるので、雑誌資料委員会を設置し案をねることと決定、日本出版貿易株式会社、株式会社国際書房を正副委員長に推選し、各委員編成準備を依頼す。

協会本部事務所「藍沢ビル」に内定、細部交渉に入る。

理事会は毎月10日25日に定例に開催することに決定、但し当日が土、日、祭に当る場合は翌日に行うこととす。7月より実施。

6月23日（金）

東西合同懇親旅行会（三谷温泉、松風園）の節臨時理事会を開催し、次の通り報告並に決定が行われました。

会場にて発表されましたが、理事の方々より事務所設置資金として、次の通りご寄附がご座いました。

金20万円	丸善株式会社	金3万円	株式会社 国際書房
金10万円	株式会社 紀伊国屋書店	金3万円	日本洋書販売配給株式会社
金5万円	海外出版貿易株式会社	金3万円	三洋出版貿易株式会社
金5万円	日本出版貿易株式会社	金3万円	株式会社 東光堂書店
金5万円	(株)ユー・エス・エシアティック・カンパニー	金3万円	株式会社 旭屋書店
		金3万円	有限会社 緑書房

関西支部の会費徴収及び還附金方法については支部臨時総会（42年6月3日）の決定方法を承認す。

寄附金の用途については東西両事務所設置資金に当てることとし、その使用は理事会に一任されました。

会報発送について在阪会員11社に対しては事務局より直送、出先会員（京都、大阪、神戸）には関西支部より回送、支部PR用として10部送附のことと決定す。

Books for Asia Ltd. より事務所設置に対し、¥30,000のご寄附がご座いました。

7月10日（月）

総務委員会答申にもとづき事務所設置の購入什器類の見積書及び追加備品の審議、東西合同懇親旅行会の精算書を審議、これを承認す。会員名簿新版作成はあらたに Code Nos. を附し、和文、欧文ともに500部作成と決定す。改正規約書は200部と決定す。新住所による航空郵便使用便箋及び封筒は、協会マーク、ヘッディング未決定ゆえ取り敢へず500と300丈作成と決定す。女子職員短大卒雇酬は給料は20,000～21,000、交通費補助2,000、勤務時間10～18時とし、社会保険に関しては更に研究することと決定す。New Zealand の通貨改革に伴う為替レートの変更及び版元より通知のあった Livre de Poche の代価変更についてはJBIA Reportにて会員各位に速報することと決定す。

次に委員会報告として洋書交換、渉外PR、会報。雑誌欠号。雑誌資料各委員会の報告がなされました。

関西支部事務所設置につき桜井理事長代理より、近く設定予定でこれに伴う費用及び支部予算等再編成詳細決定の上、改めて理事会の承認を得る旨、和田支部長より通告があった旨報告されました。

文化厚生委員会報告

一東西合同懇親旅行一

6月23日より24日にかけて、愛知県三谷温泉に一泊の懇親旅行を行いました。東京、大阪よりそれぞれ2時間余りの手軽な観光地とあって、関西支部会員に地元名古屋の会員を加え、総勢31社54名の参加を頂き、極めてなごやかに清遊を楽しめたことをご報告申し上げます。

午後4時前、新幹線豊橋駅に降り立った東京方がバスで目的地、三谷温泉「松風閣」に着くや、先着の関西側の元気の声に出迎えられ、久闊を叙するあり、早速ビジネスの連絡を始めるものありで、いかにも東西合同旅行らしい幕明け。くじ引きによる部屋割によって一階が最階上といういとも不思議な海上別館の各部屋に分れ、穏かな三河湾を眺める旅行気分にくつろぎ、早くもご自慢の大ゴンドラ、ジャングル風呂に浸る会員も多かった様です。この間、会報 No. 2 でご報告のあった臨時理事会が開催されました。

6時より始った夕食会は、文化厚生委員長の挨拶に続いて、桜井理事長代理より、協会事務所設置の経過を中心に、益々発展を続ける協会の現状報告があり、なごやかに進められました。食後の余興は、地元名古屋在住メンバーをジャッジとして、東西対抗の演芸大会となり、選抜選手各5名がそののどを競い合い、僅差で東京方の勝利に終わりました。終始和気あいあいの中に9時近く散会。

あくる24日は、朝食、記念撮影のあと、一応解散とし、希望者による三河湾島巡りを実施、多数の参加者が東歸豆海岸より出航しました。可愛らしい「うさぎ島」のうさぎ、「見るな、駆けるな、相手にするな」の猿島の離し猿とたわむれるなど、初夏の海上風物は口頃の疲れを癒すに十分でした。別に山登りを試みるメンバーや、島巡りのあとも尚、海釣りを楽しむ会員も多数ありましたが、大勢は豊橋駅15時過ぎの新幹線で、西と東に名残りを惜みながら別れを告げました。

会計報告 宿泊料 227,825 円、バス代 3,000 円、雑費 2,700 円は1名当り3,500 円の臨時会費と、Donald・ムーア社より頂戴したご寄付1万円、及び協会補助金38,185 円で賄いました。

文化厚生委員会主催による本一回の懇親旅行でありましたが、不行届の点が多く、ご迷惑をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。幹事の上杉（Donald・ムーア）前橋（東京中央洋書）両君及び協会の寺久保さん、まことにご苦勞さまでした。（洋販、片山記）

総務委員会報告

7月7日（金）紀伊国屋相良氏、福本書院福本氏、医学書院大町氏、内外交易山泉氏、（丸善桜井氏欠席）の四委員出席のもとに、本部事務所設置の件書類見直し書の審議、特別基金の用途につき進言、東西合同懇親旅行会の精算書の審議、会員簿和文並に欧文及び協会規約書の新版作成に対する進言、本部事務所に依る航空郵便用封筒、便箋につき助言、女子職員雇傭につき待遇等につき審議答申。散会後会員にて新事務所視察す。

雑誌欠号委員会報告

東京郵便局到着書面調査（事故係）見学

6月30日午後2時～3時半

中郵側 米沢清治局長 船橋貞一氏 久永進外郵便

部長 外10名

協会側 海外出版貿易株式会社 三原（委員）

三洋出版貿易株式会社 武田氏（委員）

丸善株式会社 神田氏外1名（オブザーバー）

紀伊国屋書店 相良氏外2名（〃）

1. 不着誤配についての意見交換

① 今回局長はじめ実際配送に関係ある担当責任者と実務的意見の交換を行った。特に局長より具体的に住所表示の読解困難なものについての苦心談等がありましたが、当協会としては局側の努力にも拘らず、未だに誤配が多く、これによって蒙る不着損害を申立て、より確実な配達を要望した。正確な住所表示分については間違なく配達する様注意するとの事でした。

② 新住所変更制度によるローマ字アドレス記載方法と

して下記を採用する様希望しておりました。

（例）東京都港区赤坂3丁目 5 番 6 号

町 名 街区符号 住居番号

5-6, Akasaka, 3-Chome, Minato-ku, ToKyo.

（注）丁目は町名の一部ですから、前後させないと云う考え方に依るものです。

2. 配達不能郵便物の書面調査係及び小包調査係の現場見学

④ 中郵だけで1ヶ月約2万通が配達不能で戻ってくる。この調査係で電話帖或はその他の住所録等で再調査が行はれ、約22%が解決されているそうです。（この資料は最近の1ヶ月）他のものは発信人に返送されるか、返送不能分は約1ヶ年位で廃棄処理される様です。（廃棄分については後日交渉する予定）

実際見学し、これ等再調査分は殆んど住所表示が不完全で、会社或は個人宛でも Tokyo, JAPAN のみのものが何通かある状態で、他は転居先不明のものが多く様でした。特に英文表示の会社名は不着の原因になりますので、出来るローマ字に依る日本語の音表示を依頼されました。

⑤ 不着照会としては、各郵便局備付けの101号申告用紙（郵便物不着申告書）を利用し申込んで欲しいとのことです。

⑥ 月3回英字新聞（Japan Times, etc.）に配達不能者名（小包）が UNDELIVERED MAIL 欄に記載されますので、ご参照下さい。

⑦ 配達不能便の現物を見て たまたま雑誌郵送の住所の後に取扱店記号（例えば KIN. MZ.）が入っていて再調査可能となったものがありました。局側として従来此の点には気付いてはおらず、今後この符号が再調査の手掛りになることになりました。

局側では各社この様な記号をつけているなら一覧表を提出してもらい参考にしたとの意向でした。会員の皆様で雑誌郵送先に記号を使用しておられましたら委員会へご連絡下さい。委員会では各書店記号を重複しない様検討したいと考えています。

現在使用中のものは次の様です。

丸善 MZ. 紀伊国屋 KIN. 日出貨 JPT. 海外出版 KSB 又は KAI. 三洋出版 SSB.

但しこの場合現制度では送受人及び受取人以外の三者（取扱店）へ現物を渡すことは出来ないが、その取扱店へ照会し再調査が可能な為従来よりは不着を防止する事が出来ます。（海外出版 三原記）

編集者追記 上記のD項についてはJBIA. No. 15にて略号を事務局宛て通知下さる様お願いすみますが、若し未済の節は至急ご通知願います。

雑誌資料委員会報告

6月20日理事会に於て決定発足致しました上記委員会は次の通り委員編成されました。

委員長 日本出版貿易株式会社

副委員長 株式会社 国際書房

委員 丸善株式会社

株式会社 紀伊国屋書店

海外出版貿易株式会社

（株）ユー・エス・エンアティク・カンパニー

三洋出版株式会社

本一回会合を7月5日（水）PM1.30～2.30日本出版貿易株式会社7階に於て次の委員出席のもとに開催、下記の案件を協議決定致しました。

委員長 日賀村土氏 副委員長 国際部 JR.

丸善高田氏 紀伊国屋佐野氏 海外三原氏

ユー・エス山川氏 今泉氏 三洋武田氏

海外に対する雑誌資料問合せ

A 43年度（1968年）資料について

1. 本年度は一つの試みとして行うので、資料配布は行なわない。従って各社の海外問合せは、例年通り行なわれない。又協会は出費のみで収入はない。

2. 問合わせ先はエーゼントを含め約80社

3. 問合わせ事項 (1)最新の雑誌資料。(2)割引、運賃、Vol. 数量等、創廃刊。(3)変化がある時はひきつづき。（次ページ下段へつづく）

「新刊洋書案内」について

洋書を購入する場合、洋書取扱店に行き、店頭で選書することは可能であるが、在庫していない場合は外国へ注文を出さなければならない。そこで必要なツールとして、国内輸入業者の発行する新刊洋書案内を利用することになる。以下、この案内についての問題点を書いてみることにする。

(1) 出版業者と取扱業者の区別を明確にする。外国の書店のなかには、取扱いのみを専門とし、出版をほとんどしていない書店が、ときどき見受けられる。いわゆるエイジェントである。エイジェントを通して入手すると、出版業者から直接入手するよりも、高い価格で購入することになり、不都合なことが生ずる。従って、エイジェントを通す場合には、そのことを注記する必要がある。

(2) 「版」と「刷」は必ず記入する。「再版」「3版」等の記入はあるが、「刷」との関係が非常に曖昧になっていることが多い。たとえば、1965年版を購入し、半年も過ぎないのに1966年版として案内に記載される。新版と判断して購入してみると、1965年版の第3刷であることが多い。「版」と「刷」の区別を明確に注記する必要がある。

また、複製本についても、案内に初版と記載されてあっても、現物は複製である場合が最近多くなって来ている。これなども「リプリント版」の注記は必要である。図書館には、すでに原本を所蔵している場合があるから。他方、形態についても、複製は図書の形態をとらず、マイクロフィルム、メモオデック、入手出来ないものもある。これは入手後の利用と保管の面で種々の問題を生ずるので特殊形態であることが注記してあれば発注する段階で判断が出来、好都合である。

(3) 雑誌と図書との関係

雑誌として発行されているもので図書として、案内に記載されているものがある。この場合には注記として、雑誌名と巻号、刊年を明記する必要がある。勿論、特集号であっても、特に雑誌の巻号の記載されていない場合は図書として取扱いは可能である。図書として発注しても、入手して見ると、雑誌であることが、最近多く見受けられる。これには二例が考えられる。a)一つの主題のもとに数種の論文をもち、特集号として発行されるが、一応、雑誌名、巻号、刊年が明記されている。b)1冊1論文の形式をとる、モノグラフシリーズがある。いずれも、雑誌の予約価格のうちに特集号の価格を含む場合と、別に価格のある場合がある。従って雑誌を継続購入している限りは、その雑誌の巻号をもつ特集号は、当り雑誌として入手することになる。この場合、案内に雑誌名等が明記してあれば、重複発注を防止することは可能である。

オフプリントについても、同様に、雑誌名、巻号、刊年を明記する必要がある。これは特集号と異り、より図書形態に近いものであるし、利用の点からみても、重複購入をしても良いという考え方も成立しつれども、重複発注をさけるためには、雑誌名等の記載は必要である。

(4) 継続物の出版予定

継続出版される図書は、二通りあり、a)完結の予測されるもの(全集、選集、辞書類の分冊刊行物)とb)完結の予測出来ないもの(学術報告類、科学技術関係のアドバンス、プログレス等)とがある。いずれにしても、出版予定の記載は必要である。たとえば、「全3巻」「年刊」「5年間で完結予定」といった程度の注記はしてほしいものである。それによって購入計画もたてられるし、欠号補充も可能になり、継続物の受入管理が容易になって来る。

以上、案内を利用している立場から、今までに、気のついた点を指摘しました。より良い案内の作成に役立てば幸いです。(国立国会図書館 司書 安田健)

会 員 紹 介

“本の総合企業を目指す”株式会社 旭屋書店

国鉄大阪駅前、毎日百数十万の人々がゆききする市内最大のターミナルに旭屋書店はその居を構える。背後にはキタのマスコミ・ビジネスセンターをひかえ、文化的色彩の濃い地区である。

昭和21年、元産経新聞社長早嶋喜一氏が地元の文化復興を願って6坪の店舗をもって現在地に創業。当初は和書のみ扱っていたが、本に関する総合企業をめざして、24年9月洋書部を開設、早嶋健現社長が渡来して本格的な直輸入業務の基礎を固め、一時はニューヨークに独自の出張所を開設する程に力を入れて育成した。

現在、店舗面積1,120平方メートル、従業員280名を数え、洋書部は大阪駅前店内に、洋書外販と仕入部門は太融寺の本社内におき、約30名が和田部長の下、洋書業務に携わっている。

取扱は理工、人文、社会全領域にわたり、主として関西各大学、民間研究所を対象に外販中心の活潑な営業を行っている。

“リプリント販売に賭ける情熱” 中央洋書株式会社

学生のフットコップ合せて洋書を安く提供するという趣旨も含めて、業界に於けるリプリント版の普及は日ざましいものがあるが、此の販売に正面切って取り組んだのが中央洋書である。東京は神田の古書店街のド真中に陣取って8年。或る時は異端的存在であったかもしれないが、今はすっかり神田村の住人になりきったところ。

「馬鹿の一つ覚えですよ」と前橋社長は云うが、持前のファイト一本でリプリント販売に情熱を集中したその実力は、業界でも高く評価されている。理工書・医書・社会科学書と、オリジナルの取扱も、卸専門というその性格から当然多方面にわたっているようだ。現在 Heineman Educational Co. のプロモーションも代行しているし、又最近ではエルゼヴィア社の学生版の総代理店でもある。

(=) 2 copies づつ。(一部関西支部用)

4. 投函はレター用紙及び封筒の出来次第
5. 到着資料は事務所に整理しておく
6. 各国の出版社センターの様なものともコネクションをつけておきたい。(これは協会又は渉外PRの仕事か?)

B 44年度(1969年)資料について

1. 配布リストを作るか否かについて、又照会先のリストについて43年3～4年までに43年度資料をみて決定する。
2. リストの配布法も43年3月までに決定する。
3. レギュラー・サービス 到着する資料をそのままcopyして年間契約で配布、登録料及び実費+αで収入を確保します。ゼロックス・リコピー、又はクイック・コピーが必要

尚外国雑誌目録を発行して居られる会社は、事務所にそなえたいと存じますので、2 copies を(1部関西支部の爲め)1967年度のものから事務所宛にお送り下さる様お願い致します。(服部記)

会報委員会報告

会報の出来ばえは如何でしょうか。ご意見をお待ちして居ります。

6月8日 JBIA. No. 14 にてお知らせしました会報余部のご希望に対しては、年間200円の予約価(一部売り20円)で頒布することに致しました。お申込みをお待ちしております。

ニュース欄をもっと充実したいと思います。外国出版社の来日、会員の外遊、人事消息等事務局まで電話でも結構ですからお知らせ下さい。(相良記)

関西支部だより

42年6月3日 臨時総会開催（於東阪急ビル）

出席25社（内3社委任状提出、総数27社）

5月29日の本部総会の議事を中心に、支部関係の関連事項を協議、議決す。

1. 役員改選、増員、規約の改正
2. 42年度新予算案 決定
3. 各委員会報告

42年6月5日 上記総会の決定に基づき、郵便誤着調査を実施

施するため、フオームを各会員に送附、協力を依頼す。

42年6月15日 役員会を開催、洋版社長渡辺理事を迎えて臨時役員会を開催、出席者和田支部長代理以下役員6名、主として総会（本部及び支部臨時）の議決事項、報告書の内容につき関西側の意見を連絡す。

42年6月23—24日 東西合同懇親会に和田支部長代理以下14名参加。

東海懇談会だより

東海地区に於ては7月8日幹事会を開催し、42年度定時総会を開催することに決定。

日 時 7月14日（金）午後6時より

場 所 三楽（西区菊井町交差点南東入る）

議 題 役員改選の件

前年度会計報告

各社近況、その他

NEWS欄

Mr. Anthony R. Rudkin 来日

6月上旬 Hutchinson Publishing Group, London の Export Sales Manager. Mr. Anthony R. Rudkin 来日

Mr. R. B. North 来日

6月下旬 MacDonald & Evans Ltd., London. の Overseas Director. Mr. R. B. North 来日

Mr. Ernest Yu 来日

6月下旬 Books for Asia Ltd., Hong Kong の Mr. Ernest Yu 花嫁を伴い来日

休日のお知らせ

ドナルド・ムーア社、7・8月中の土曜日は例年通り休業の旨通知がご座いました。

協会本部事務所設置のお知らせ

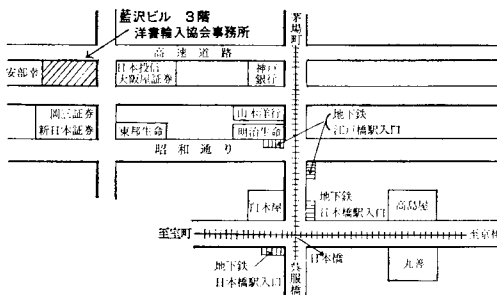
JBIA. No. 16にてご案内致しました、本部事務所下記に設置致しました。

同ビル前側は駐車可能で少し隣りは兜町有料駐車場（高速道路の下）もございます。

目下の処、女子職員がおりませんので事務長は午前中事務所に、午後は丸善内にて執務しております。

東京都中央区日本橋江戸橋1の15の5

藍沢ビル 3階302号室 電話 271-6901



■原稿募集

会員諸氏の原稿をお待ちします。
横書き400字詰原稿用紙で何枚でも結構です。
事務所宛てにお送り願います。

■NEWS欄利用

本欄は皆様の欄です。会員諸氏の情報、Sole Agent の通知など掲載ご希望の向きはドシドシお送り願います。

■広告欄利用

広告など取扱いますからせひご利用下さい。

会員広告料：1/8頁（7×5cm）2,000円

1/4頁（15×5cm）3,000円

■図案募集

協会のマーク、レターヘッドの図案を募集いたします。会員諸氏のグッド・デザインをお待ちいたします。

送り先 国際書房 服部正喬氏

お詫び

会報2号所載「外国為替公認銀行から見た洋書輸入に関する注意事項」の特別記事は才一銀行提供が脱落して居りますので訂正お詫び致します。

昭和42年7月 第3号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重
東京都中央区日本橋江戸橋1-15-5 藍沢ビル302号室 電話 271-6901